

2学期の新型コロナウイルスへの対応について

小杉南中学校 保健室

国内及び県内における新型コロナウイルス感染拡大している中での2学期の開始となります。現在の感染は、ほぼデルタ株が占め、とても感染力が強いものとなっています。

新型コロナウイルス感染症は潜伏期間が2～7日程度で、無症状でも感染力があるのが特徴です。学校内での感染拡大をさげ、命を守り、教育活動を継続できるよう、改めて感染対策について確認し、予防対策の徹底をお願いします。

★《デルタ株の特徴》

- 感染力は従来株の2倍程度。
- 感染した人が排出するウイルス量は従来株の約千倍。
- 感染者1人が他の8～9人程度にうつす恐れがある。
- 従来株では子供は感染しにくいと言われていたが、デルタ株は子供でもクラスターが起きている。

1学期の学級活動で、生徒は感染リスクの高い場面を話し合っています。自分の行動において、各自考えて行動するように指導をお願いします。



1 日常の学校生活で行う対策

引き続き、マスクの着用、手洗いの徹底、消毒等基本的な感染症対策の徹底

- ① 登校時に手指消毒を行う。生徒玄関での見守り継続。
- ② 登下校時、熱中症対策の為にマスクをはずす際は、人との距離を取る。
- ③ 朝の検温継続。測定を忘れた生徒は保健室前で測る。
- ④ 健康観察カードの記入。項目の一部変更*「同居の家族で、新型コロナウイルス感染症が疑われる症状のある人や濃厚接触者と言われた人がいますか?」
- ⑤ 発熱時や体調が悪いときは、早退させる。他の生徒と濃厚接触しないよう配慮する。
- ⑥ 休み時間等、生徒同士の3密を避けるよう考えさせる。
- ⑦ 相手とのプライベートゾーンとして*ワンアーム（片腕分）の距離を取るようルール付ける。
- ⑧ *歯磨きは、つばが飛び散らないように静かに磨き、静かに吐き出す。混み合う場所では磨かない。

濃厚接触者の定義	
【接触の時期】 発症した日から	変更 → 発症の2日前から
【接触の内容】 2メートル程度の距離で、感染防止策なしに接触	変更 → 1メートル程度の距離で、感染防止策なしに15分以上接触
(以下は変更なし)	
• 同居または長時間接触	
• 感染防止策なしで診察・看護・介護	
• 体液に直接接触した可能性高い	

2 教室での対策

- ① 机の配置をできるだけ座席の間隔を空けて配置する。*授業の学習形態を配慮する(班活動、ペア学習等)。
- ② *常時天窓を開けておく。授業中、教室の換気を行う。後ろの窓と入口の戸を 15 cm開けておく。
- ③ 給食前の手洗いを徹底し、食器を触る前に消毒をする。机を向き合わせにせず、*黙食を徹底し、食べ終わったらマスクを着用する。*おかわり等の配食は教職員が行う。
- ④ 食器等の後片付けはマスクを着用し、*片付け終了後に手洗いをする。(給食当番後も)

3 実技/実習教科の対策

- ① 可能な限り感染症対策を行った上で実施する。
- ② 共用する物品がある場合は、使用後に消毒をする。

4 部活動での対策

- ① 生徒間の接触が多い活動等、感染リスクの高い活動を控える。
- ② *土日の活動日には、部活動健康チェックを継続して使用する。
- ③ *活動時以外(ミーティング、片付け等)でのマスクの着用。
- ④ 共有物の消毒。

4 環境衛生

- ① 校舎内の共用部分の消毒。サポーターさんに担当場所を毎日消毒してもらおう。
- ② トイレ清掃において、消毒の徹底。清掃後の手洗いの徹底。
- ③ 鼻をかんだ後のティッシュペーパー等は、袋に入れる又は蓋付きのゴミ箱に入れる。

5 ワクチン接種について

射水市において、9月より12歳以上にワクチン接種が始まります。生徒でワクチン接種後の副反応の発熱、体調不良で欠席の場合は出席停止になります。(中3の先行ワクチン接種は9月12日からです)